平成１３年5月１７日

「国債の清算機関等に関する勉強会」の設置について

１．趣旨

今般、財務省理財局長の私的懇談会である国債市場懇談会は「流通市場おける流動性向上のための提言」（平成 13 年 3 月 27 日）において、国債清算機関の創設を提言したところである。これを受けて行政当局から日本証券業協会に対して市場関係者において国債の清算機関の創設問題について検討されたい旨の要請があった。

また、我が国の国債市場は、本年1月から決済のRTGS化が導入され着実な定着が見られるところであるが、今後の国債発行増等も考慮すると、清算機関の設立など更なる市場整備の早急な検討が必要であるとの指摘がある。

こうした情勢を踏まえ、本格的な検討に先立って海外の清算機関や高度化が指摘される RTGS 決済の実態、その背景となる金融インフラ等、などを調査しつつ、我が国の国債決済の現状を分析することにより国債の清算機関・RTGS 決済の機能向上等を目指す必要がある。そこで、市場関係者により「国債の清算機関等に関する勉強会」を設置することとする。

２．主な検討事項

① 海外（主に米国）の国債等の清算機関の実態
② 日本と諸外国との国債決済システムの環境の相違
③ 国債の清算機関の目的及び内容
④ 我が国における国債の清算機関の必要性について
⑤ その他

３．メンバー構成等

① 本勉強会の人数は委員 10 名程度、オブザーバー等若干名とする。
②　事務局は日本証券業協会に置く

４．期間

本勉強会は 7 月中を目途に終了する。

以　上

国債の清算機関等に関する勉強会

委員	藤巻 美穂	（ゴールドマン・サックス証券会社 債券業務部長）
〃	曽我 一彦	（㈱ＵＦＪ銀行 決済業務部調査役）
〃	仙田 秀実	（大和証券ＳＭＢＣ㈱ 債券部部長）
〃	兒島 和宏	（東京三菱証券㈱ 事務管理部課長）
〃	鶴田 晴司	（ドイツ証券会社 業務部部長）
〃	名古屋 昌代	（日興ｿﾛﾓﾝ･ｽﾐｽ･ﾊﾞｰﾆｰ証券会社 内国証券業務部ｼﾆｱﾊﾞｲｽﾌﾟﾚｼﾞﾃﾞﾝﾄ）
〃	鈴木 正泰	（野村証券㈱ 金融市場部企画課課長）
〃	番匠谷 廣彦	（㈱みずほ銀行 証券・IB企画部次長）
〃	野口 一弘	（みずほ証券㈱ 業務管理ｸﾞﾙｰﾌﾟ証券管理部課長）
〃	佐藤 徹	（三菱信託銀行㈱ 受託財産企画部統括ﾏﾈｰｼﾞｬｰ）
〃	小野 順	（メリルリンチ日本証券㈱ 証券業務部ヴァイスプレジデント）
オブザーバー	野尻 明裕	（財務省 理財局国債課課長補佐）
〃	長崎 幸太郎	（金融庁 総務企画局市場課課長補佐）
〃	坂本 哲也	（日本銀行 信用機構室決済システム課調査役）
〃	加藤 毅	（日本銀行 金融市場局金融市場課調査役）
〃	八木 均	（証券保管振替機構 企画部部長）
〃	清水 寿二	（㈱東京証券取引所 決済管理部長）
〃	大海 正雄	（金融情報システムセンター 調査企画部長）
常時出席者	和泉 聖一郎	（新光証券㈱ 事務戦略部債投決済管理担当課長）
〃	古谷 淳	（ﾄﾞﾚｽﾅｰ･ｸﾗｲﾝｵｰﾄ･ﾜｯｻｰｽﾀｲﾝ証券会社 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾃﾞｯﾄﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ債券ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ部長）
〃	椿 康男	（明治生命保険（相） 運用管理部証券事務課長）
〃	大熊 勇	（農林中央金庫 証券管理部債券業務管理課課長）
〃	宇都宮 研	（ﾋﾞｰ･ｴﾇ･ﾋﾟｰ ﾊﾟﾘﾊﾞ証券会社 業務管理部部長代理）
〃	貴田 祐一	（ﾓﾙｶﾞﾝ･ｽﾀﾝﾚｰ･ﾃﾞｨｰﾝ･ｳｨｯﾀｰ証券会社 債券市場部）
〃	川原 敏裕	（日本相互証券㈱ 決済業務部次長）

（計２５名）